



# 学校だより

令和6年2月1日 第10号

さいたま市立大宮東中学校

E-mail omiyahigashi-j@saitama-city.ed.jp

物事の捉え方 ～どちらの心の持ち方をしますか～

校長 浅見 正史

大寒（1/20）に入り寒さ厳しい日が続き、先月は2学級でインフルエンザ様疾患による学級閉鎖を余儀なくいたしました。今後も感染症予防対策をしっかりと行い、健康には十分ご注意ください。

立春（2/4）を過ぎると、暦の上では春とされています。これからは、今まで降っていた雪が雨に変わり、雪や氷は水となり、春の気配を感じられる頃となります。春はそこまで来ています。

さて、3年生は、先月から私立高校の受験が始まっています。そして、今月7日（水）に公立高校願書を郵送必着で提出し、21日（水）学力検査、22日（木）実技検査・面接（一部の高校）が実施されます。今後も時間を有効に使い、ベストコンディションで臨み、頑張った自分を信じて、緊張を味方につけ、そして集中し、最後の最後まで力を尽くし頑張ってください。今まで努力してきた成果を存分に発揮してほしいと願っています。

ここでは、私が高校時代（昭和57年）に聞いた、「アフリカに行った靴屋」の話を紹介します。



一昔前のことである。異なる会社の二人の営業マンが、アフリカに靴を売りに行った。驚いたことに、現地の人々はみな裸足で歩いていた。二人の営業マンはそれぞれ全く逆とってような受け止め方をした。一人の営業マンは、「誰も靴を履いていない。靴など必要ないし、売れるはずもない」と靴を売ることを諦めました。もう一人の営業マンは「誰も靴を履いていない。靴を履くことのよさを伝えることができたなら、靴はいくらでも売れる」とさっそく営業を始めました。

物事の受け止め方は人それぞれです。一方は現実を否定的に受け止め、もう一方は肯定的に受け止めました。様々な場面で、起こることを肯定的に捉えることができると、自分自身でチャンスを生み出すことができます。いつも物事を否定的に捉えると、困難を克服していこうとする意欲も湧かず、諦めからは何も生まれません。情報を得た時に、どう捉えるかで、その後の成果が大きく変わります。生徒の皆さん、どちらの営業マンの心の持ち方をしますか。

2月もあっという間に過ぎていきます。残り2か月、「もう時間がない」と諦めるのではなく、「まだ時間はある」と奮起し、今年度の自分の目標に向かって努力をしていきましょう。